

モンキョウ

Colias erate



分類	シロチョウ科													
形態	前翅長 22～33mm。♂ は黄色、♀ は黄色と白色の 2 型ある。前翅表に黒斑、後翅表に橙赤色斑をもつ。外縁の黒帯に黄色斑(または白色斑)がある。													
分布	北海道から南西諸島までのほぼ日本全土。													
出現期	本州では 3～11 月にかけて、年 3～5 回の発生。南西諸島では 2～5 月に多く、夏から秋にかけては数が減少し、ほとんど見られないことがある。越冬態はおもに 2～3 歳の幼虫で、温暖地では休眠せずにゆっくり成長する。蛹で冬を越すこともある。													
生態	牧草地、公園、河原の草地など開けた環境に見られ、亜高山帯にも棲む。地表低くを素早く飛び、アザミ類、タンポポ類などで吸蜜する。													
食樹	マメ科のアカツメクサ、シロツメクサ、ミヤコグサ、レンゲソウ、クサフジなど。													
幼虫 (幼生期)	体長 30mm。緑色で、体側に黄色線がある。													
出現時期	(月)	-	-	3	4	5	6	7	8	9	10	11	-	
その他														
参考文献：検索入門 渡辺康之著 チョウ														